
ワークショップ

「岡山 188cm 望遠鏡による新たなサイエンスの展開」(1st circular)

日時：2018年2月22日(木) 午前～2月23日(金) 午後(予定)

会場：東京工業大学(大岡山キャンパス)

西9号館2階コラボレーションルーム(初日)、石川台2号館318号室(2日目)

主催：東京工業大学理学院系外惑星観測研究センター

<趣旨>

岡山 188cm 望遠鏡は、平成 29 年度をもって国立天文台による共同利用観測が終了し、平成 30 年度からはユーザー主体の運用へと移行することが決まっています。共同利用から外れることによって柔軟な時間の割り付けが可能になり、集中的な観測や連続的な観測など、共同利用の枠内では困難だった新しい観測研究を始めるチャンスが訪れるとも言えます。

本ワークショップでは、平成 30 年度以降に同望遠鏡の利用を希望するユーザーが集い、今後の観測研究の展開とそれを実現する方法、体制等について議論します。近年盛んに行われてきた系外惑星観測を主軸としつつ、岡山を拠点とした太陽系惑星、恒星、突発天体などの新しい観測研究の可能性も追究していきます。特に、自動化される同望遠鏡の機動性を活かした観測や、柔軟な時間割付を活かしたモニター観測、全球的なネットワーク観測など、新たに可能になる観測研究の提案を歓迎します。また、望遠鏡・観測装置の運用に関する議論への積極的な参加を期待します。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

<セッション(予定)>

- ・2月22日 午前～23日 午前
 - サイエンス 系外惑星、木震学、星震学、変光星、突発天体、恒星化学組成等
 - 装置開発 天文コム、HIDES 改造計画
 - 教育利用
- ・2月23日 午後
 - 運用体制・運用方法の議論

<宿泊施設>

近くのホテル等の宿泊施設を各自手配願います。

<旅費補助>

補助を希望される方は下記の web フォームよりお申し込み下さい。ただし、予算に限りがあり、ご希望に添えない場合があります。希望者多数の場合は、講演者や学生の方を優先させていただきますのであらかじめご了承下さい。

<講演>

講演を希望される方は下記の web フォームよりお申し込み下さい。

<懇親会>

2月22日(木)のセッション終了後に、東工大周辺にて懇親会の開催を予定しております。ユーザー同士の交流を深めるため、奮ってご参加下さい。会費は未定ですが、3,000円(学生)・5,000円(一般)程度となる見込みです。参加を希望される方は下記 web フォームよりお申し込み下さい。

<参加・講演・旅費補助申込 web フォーム>

<https://goo.gl/forms/PC596B6TOg5s5dm62>

講演、旅費申請締切：2018年1月5日(金)

参加申込締切：2018年2月9日(金)

<世話人>

佐藤文衛(東京工業大学)、泉浦秀行(国立天文台)、成田憲保(東京大学)、福田尚也(岡山理科大学)、和田武彦(宇宙科学研究所)

<連絡先>

satobn@geo.titech.ac.jp (@を半角に変換してください)